

北海道教育委員会教育長 様

北海道札幌啓成高等学校学校長 斉 藤 光 一

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

(1) 特色ある教育活動の推進及び全教職員で取り組む持続可能な運営体制の構築
(2) 生徒の資質・能力の育成を目指す具体的な教育実践の推進
(3) 主体性を育む生徒指導と困難を抱える生徒への支援体制の充実
(4) 生徒が安心して学べる学校の維持

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校運営	○管内唯一の理数科設置校として、SSH事業の推進を通して理数科教育を充実させている。 ○各教育活動の充実・改善を通して学校力の向上を図った。 ○探究学習を全校体制で取り組み、主体的・協働的学習の推進と改善を進めた。	○啓成高校の特色ある教育活動を推進・発展させ、保護者と一体になって生徒の主体性を支援している。 ○学校運営や改善の方策において、課題を捉えながら進められている。 ○落ち着いた状況を維持するとともに、社会で生きていく力を育成してほしい。
改善方策	本校の特色ある教育活動の理念や目的について、全教職員の共通理解をより深化させ推進する。	
教育課程	○研修等を活用し、全校体制による授業改善を推進した。 ○生徒にとって有益な授業やICTを活用した教育を実施した。 ○健康や交通安全など、生活安全の指導を推進した。	○学校としての特色ある教育課程を構築し、啓成高校らしさを感じることができている。 ○主体性を育む場面、生かす場面を今後も適切に設定し、生徒に気付きを与える手助けを行ってほしい。
改善方策	学習指導要領の実現に向けた不断の授業改善やICTの積極的な活用による授業の充実を図り、生徒が他者と協働しながら自ら学びを深めることにつながる学習の場を提供するとともに、評価方法について研修を深める。	
生徒指導	○生徒が自ら地域社会を意識し、礼節と秩序を重んじる行動ができている。 ○個別に学習や生活面での支援を必要とする生徒について、保護者と連携しながら組織的な体制により支援を進めた。 ○SNSや友人関係のトラブルの未然防止に組織的に取り組んだ。	○日頃の登下校の様子から、落ち着いた生活態度が感じ取れ、生徒の規範意識の高さが表れている。 ○スマートフォンの使用方法などを生徒に考えさせ、理解を得られる形でのルール作りをするなど、より一層充実した生徒指導を行うことを期待する。
改善方策	社会情勢や変化に柔軟に対応し、関係機関及び家庭との連携をさらに深め、生徒一人ひとりの状況に応じた組織的な指導体制をより充実させる。	
進路指導	○丁寧な個別面談等を通して、生徒一人ひとりの進路実現を組織的に支援する体制が確立されてきている。 ○学年や関係教科との連携により、進路活動がより充実してきている。 ○本校生徒の特性に応じた進学講習を推進し、絶えず改善を図っている。	○大学進学者の状況などから、個々のニーズに沿った適切な進路指導を行っていることが理解できる。 ○一人一人の将来を見据え、社会に出てからの目標を大切にしたい指導を保護者と連携して行っている。
改善方策	多様な進路希望に対応する進路指導をより充実させるための組織的な連携を強化するとともに、次代にあった規定の改定を行う。	
その他	○ホームページの更新や啓成新聞、各種便りなどを通じて学校情報の発信に努めている。	○学校の様々な取組や広報活動から、学校として生徒の人間性を大切にしていることが理解できる。 ○PDCAサイクルの意識を絶えず持ち続け、啓成高校らしさを考え続けていくことが大切である。
改善方策	ホームページやWEB、メール等を活用した積極的に情報の配信を行う等、教育活動の充実と改善を継続して図り、生徒・保護者・地域からの信頼をより得られるよう努めていく。	
公表方法	学校評価報告書のホームページへの掲載	

3 添付資料

- (1) 令和6年度(2024年度)北海道札幌啓成高等学校保護者アンケート結果
(2) 令和6年度(2024年度)北海道札幌啓成高等学校自己評価アンケート結果
(3) 令和6年度(2024年度)北海道札幌啓成高等学校関係者評価結果